

平成 28 年度 宮城県仙台第二高等学校アメリカ研修報告書

◆二日目：7月25日（月）

時間	報告
07:00	起床
07:45	朝食
09:00	オリエンテーション（ボストンの街について、研修中のポリシーと諸注意）
10:15	アイスプレイング（英語ゲーム）
11:00	プレイスメントテスト
12:50	昼食
13:30	マサチューセッツ工科大学へ出発
	日本人大学院生とのキャンパスツアーと懇談会（14:15～15:45）
	大学生協：COOPにて買い物（15:55～16:50）
18:00	夕食
19:00	イブニング・アクティビティー（他国生との交流プログラム）
21:30	ミーティング（研修振り返りと翌日、及び翌日以降のスケジュール確認）
22:00	解散
	<p>【追記】</p> <p>いよいよボストン（フィッシャー・カレッジ）での研修初日、長時間移動での疲れと深夜到着での睡眠不足、そして時差ボケによる遅刻が想定されましたが、全員が定刻に集合。元気な顔を見せてくれました。</p> <p>早速、食事会場となるカフェテリアでの生徒たちのアクションを期待・・・のはずでしたが、本日午前中は「フィッシャー・カレッジ」合格者の入学手続きにより、カフェテリアを含む施設の一部が使用できず、朝食・昼食ともに我々のみで摂ることとなったのは、残念でした。</p> <p>しかし、既報の通り 100 名近い他国生が行き来する施設内、食事や英語クラスだけでなく、チャンスは常にあります。イタリア、ロシア、トルコ、エクアドル、ブラジル、中国・・・など国籍は様々、アメリカ自体を象徴するようなまさに多彩、多様な文化と言語が飛び交う雰囲気、多くの生徒は夕食の機会を楽しみにしていました。</p> <p>その後、オリエンテーションとプレイスメントを実施。このテスト結果を受けて、明日からはレベルに応じたクラスに割り振られ、他国生（クラスにより日本人と外国人生徒との比率は異なりますが）とともに英会話クラスが実施されます。本当の「戦い」は明日からのはずですが、このプレイスメントテストで既に撃沈した生徒も少なくなかったようです。しかし、そう言う生徒たちの表情とことばからは、むしろ「楽しみ」を強く感じました。</p> <p>30分ほどで昼食を終え、地下鉄にて午後のアクティビティーに出発。本日は、MIT（マサチューセッツ工科大学）を訪問いたしました。ゲストとしてお越しいただいたのは、同大学院にて経済（専門は計量経済学）を研究されている「梶 氏」。慶応大学理工学部卒業後は、外資系銀行に勤務、その後経済学の道を目指し、東京大学大学院にて経済学修士号取得。2012 年よりMIT 経済学部博士課程に。将来は大学教授を目指していらっしゃるとのこと。1時間ほどのキャンパスツアーの後、20分ほどの質疑と懇談。大学が夏期休暇中ということで、幸運にも空き講義室へ入ることができたことも生徒たちには貴重な体験でした。</p> <p>生徒からの質問に対し、質問の内容を問わず聡明さを感じさせる明確な回答、そして高校生という年代を考</p>

慮して生徒目線での具体的なアドバイスをいただきました。しかしながら、質問をする生徒の顔ぶれはいつもと同じ、猛暑で歩き回ったせいもあるでしょうが、キャンパスツアーと質疑の時間通じて、何となくついて歩く、なんとなく話を聞いている・・・という雰囲気を感じられたのは非常に残念でした。

最後に、自ら手を挙げてくれた 1 名の男子生徒から感謝の気持ちとして感想を述べてもらい、終了となりました。終始おだやかで、優しい人柄を感じさせる方でしたが、ことばの端々には「常に自己を高める環境に身を置く」気概、そして強い向上心が感じられ、生徒たちに素晴らしい出会いとなったことを期待します。

夕食後は、他国からの学生も参加してのイブニング・アクティビティーに参加しました。近くの公園に出向いてバスケットボール、大学寮内での交流会（ゲーム、卓球など）、そしてポストン中心部「Downtown Crossing」付近でのショッピングの 3 つからの選択。いずれのアクティビティーに参加した生徒も、控えめながら他国生との交流を楽しんでいたようです。バスケットボールでは、女子生徒数名も参加、長身の外国人生徒のなかで、男子生徒とともにいい汗を流していたのが印象的でした。

以上、本日の報告とさせていただきます。

《オリエンテーション》



《プレイスメントテスト》



《マサチューセッツ工科大学》





《カフェテリアの風景》





«夕食後のアクティビティ（バスケットボール）»



《夕食後のアクティビティ》

